作成日 2018/01/10
改訂日 2022/12/26

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	コバエがいなくなるスプレー
整理番号	1418
供給者の会社名称	大日本除蟲菊株式会社
住所	大阪市西区土佐堀1－4－11
担当部門	お客様相談室
電話番号	06-6441-1105
推奨用途	殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	エアゾール 区分1
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2B
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1
	上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H222 極めて可燃性の高いエアゾール H229 高圧容器:熱すると破裂のおそれ H320 眼刺激 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き	
安全対策	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211) 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)
保管	日光から遮断し、50 ℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
トランスフルトリン	不開示	C15H12Cl2F4O2	(3)-4369	4-(7)-1929	118712-89-3
液化石油ガス	不開示	—	—	—	不開示
その他成分	不開示	—	—	—	不開示

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。
使ってはならない消火剤	棒状水。
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物は回収すること。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	使用後を含め、穴をあけたり燃したりしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。 日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
トランスフルトリン	未設定	未設定	未設定

設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具	必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具	必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	エアゾール
形状	液体
色	無色～微黄色澄明(原液)
臭い	特異なにおい
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	14℃(原液)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.861(20℃)(原液)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱条件において反応性なし。
化学的安定性	通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	原料情報より、区分に該当しない
	経皮	原料情報より、区分に該当しない
	吸入	
	(気体)	GHS定義による気体ではない。
	(蒸気)	データなし
	(粉じん・ミスト)	データなし
皮膚腐食性／皮膚刺激性		原料情報より、区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		原料情報より、区分2B
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
誤えん有害性		データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性　短期(急性)	原料情報より、区分1
水生環境有害性　長期(慢性)	原料情報より、区分1
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

		内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。
	国連番号	1950
	品名	エアゾール
	クラス	2.1
	容器等級	–
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号		126

15. 適用法令

労働安全衛生法	
2024/03/31まで	表示対象物質 非該当 通知対象物質 非該当
2024/04/01以降	表示対象物質 非該当 通知対象物質 非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	
2023/03/31まで	非該当
2024/04/01以降	非該当
消防法	第4類　引火性液体　第一石油類（非水溶性）

16. その他の情報

連絡先	緊急連絡先：処置法など、医師から下記に電話してお尋ねください。 公益財団法人　日本中毒情報センター（中毒110番） 大阪（365日,24時間対応）： ・一般専用電話（無料）　072-727-2499 ・医療機関専用有料電話　072-726-9923 つくば（365日,9-21時対応）： ・一般専用電話（無料）　029-852-9999 ・医療機関専用有料電話　072-851-9999
参考文献	JIS Z 7252:2019 JIS Z 7253:2019
その他	改訂履歴 作成日　2018年01月10日 改訂日　2021年01月14日 改訂日　2022年12月26日 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。定められた用途及び使用上の注意事項に従ってご使用ください。